『大仙市ゼロカーボンシティ宣言』

~大仙市と大仙市議会の共同宣言~【秋田県内初】

2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します

企

体

の

も

に推進

大仙市の現状

■CO2排出量・吸収量 (2016年度)

(2016年度) (千t-CO2/年)

700

600

500

400

300

650

200

-100

-100

-200

CO2排出量 森林吸収量

■CO2排出量の推移



□ これまでの主な取組

〇公共施設等の主な取組

●公共施設カーボン・マネジメント強化事業(2017~2020年度)

(省工ネ設備導入:6施設 削減効果:約170t-CO2/年)

●公共施設再生可能エネルギー導入事業(2012~2015年度)

(太陽光発電:13施設/合計出力188kW ソーラーLED街灯:44施設/68基 削減効果:約110t-CO2/年)

●LED街路灯 ESCO事業(2012年度)

(LED街路灯:約9,000灯 削減効果:約820t-CO2/年)

合計削減効果:約1,100t-CO2/年

〇再生可能エネルギー導入の主な取組

- ●民間再工ネ発電事業者の誘致
- ◉地球温暖化対策基金の創設(2016年3月~)(2021年度末基金残高(見込):約1億円)
- ●市営太陽光発電所運転開始(2015年12月~)(発電出力2,354kW 削減効果:約1.6千t-CO2/年)

今後の取組の方向性

Oエネルギー使用量の削減

- ●住宅・建築物の省エネ及びZEH/ZEB化 ●次世代自動車の普及促進
- ●公共施設における率先実行 ●食品ロス、プラスチック製廃棄物の削減…など

〇再生可能エネルギーの最大限導入

- ●公共施設等での自家消費型の再工ネ導入 ●民間企業等でのRE100(使用電力の100%再工ネ)促進
- ●多様な地域資源の活用 ●再工ネ由来燃料等への転換…など

〇大仙市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定

- ●地域再生可能エネルギー導入目標策定事業(令和4年度)
- ●大仙市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定(令和5年度)
- ※計画を策定するなかで、実効性ある取組を検討します。

